

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和3年3月25日

事業所名:おおぞらのいえ児童発達支援事業所

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは確保できている。状況に応じてパーティションで区切るなどしている。	「はい」が13名。「どちらともいえない」が1名。 (ご意見)室内も広く安全で、屋外もすぐに広場があるため安心。おとなしい子どもやんちゃな子ども、それぞれがストレスなく過ごせていると感じる。	現状維持していきます。
	2 職員の適切な配置	今年度は配置人員を満たしているため、募集は行っていない。	「はい」が13名、「どちらともいえない」が1名。	指定基準以上の配置を行い、充足しています。今後も職員体制の維持に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	写真を使用した一日の流れ、イラストを使用する物の配置場所の表示、個人のマークとひらがなでの名前前の表記を行っている。	全員が「はい」の回答。 (ご意見)すぐに馴染めたようなので、適切になされていると思う。	随時、利用児に合わせた支援を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除機がけ、アルコール消毒等を実施。運動時等には、椅子や机を倉庫に片付けるなど活動に合わせた環境作りを行っている。	全員が「はい」の回答。	引き続き、清潔で心地よい空間作りに努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングの中で、職員間で意見交換と情報共有を行うと共に、一日の振り返りと目標設定を行っている。		職員全員が、PDCAサイクルを活用し、より積極的に業務改善を進められるよう努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	児童発達支援事業所としては実施していない。		必要に応じて検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内での虐待防止研修や外部開催の研修に参加している。		引き続き、内外研修に積極的に参加し、伝達研修を行い職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画案作成前に、保護者からのニーズの聞き取り、案作成後に保護者との面談を行い作成している。その後支援会議で職員間で周知する。	全員が「はい」の回答。 (ご意見)個性に応じて細かく課題を計画して下さっていると思う。	今後も、利用者及び保護者のニーズを踏まえた個別支援計画の作成に取り組みます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた計画の作成を行っている。	全員が「はい」の回答。	今後も子どもたちの状況に応じた計画の作成を行います。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	毎日ケース記録の入力を行っている。月末には全利用児の目標に対する評価を行い、職員間で情報共有している。		引き続き、詳細に支援内容を記録していくと共に支援に必要な項目を設定していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	会議等で計画の内容を職員間で共有している。また、毎日のミーティングの中で情報交換を行い支援方法を統一している。	全員が「はい」の回答。	引き続き、個々の支援計画に沿った適切な支援を行えるよう努めます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	療育終了後、毎日職員ミーティングを行い翌日のプログラムを決定、共有している。		引き続き詳細なプログラム設定にチーム全体で取り組んでいきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	例年、通園児の長期休暇の受入を行ってきたが、今年度はコロナ禍のため、幼稚園の夏季休暇が短く、長期休暇のみの受け入れは行っていない。		新型コロナウイルスの感染状況や幼稚園等の状況に応じて、対応していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎日のミーティングで利用児の年齢、特性に応じたプログラム内容の検討をしている。過去のミーティング記録を保管し、振り返りを行う。	全員が「はい」の回答。	引き続き、固定化しないよう努め、保護者への情報提供も行っていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には、その日に報告を受けた利用児の家庭での様子等を含む情報交換を行い、再度確認を行っている。		引き続き、実施していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後、毎日職員ミーティングを行い支援の振り返りを行っている。		引き続き、実施していきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援記録を毎日記入している。毎日のミーティングでの支援の検証・振り返りによる改善を実施している。月末には担当者が評価を行い、職員間で共有している。		引き続き、詳細な記録と、検証・改善に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月ごと、あるいは必要に応じて保護者と面談を行いモニタリングを実施している。		引き続き、実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	必要に応じて児童発達管理責任者、担当支援員の会議への出席、電話での情報共有に努めている。	引き続き、実施していきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	※	※	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	※	※	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、情報提供書類を作成したり、幼稚園等への訪問を実施している。	引き続き、情報共有に努めます。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	※	※	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	コロナ禍であることで、今年度は神戸市、明石市の事業所連絡会には出席していない。	新型コロナウイルスの感染状況に応じて、情報共有・研修の受講促進に努めます。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	例年であると、保育園等の園庭開放等に参加しているが、今年度は、コロナ禍で実施できていない。	「はい」8名、「いいえ」が1名、「どちらともいえない」が1名、「わからない」4名回答あり。(ご意見)コロナのため、仕方ないと思う。	新型コロナウイルスの感染状況に応じて、交流に努めます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所は総合リハビリセンター内にあり、例年センター行事に地域住民を招待している。利用児・保護者にも情報提供し、参加を呼びかけているが今年度はコロナ禍であることで実施していない。		新型コロナウイルスの感染状況に応じて、実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書や利用のしおりに沿って説明を行っている。	「はい」が13名、「わからない」が1名回答あり。	引き続き丁寧に説明を行っていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画やモニタリング記録表に沿って、面談により説明を行い、保護者からの意見を収集したり、疑問をその場で解消できるようにしている。	全員が「はい」の回答。	引き続き丁寧に説明を行っていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者会の中で勉強会や茶話会の時間を設けて、スキルアップや情報交換できる場を設けている。	「はい」が12名、「どちらともいえない」が2名回答あり。 (ご意見)保護者会もあり勉強になる。保護者会でOTの方等からの勉強会の機会を設けてもらいました。今は開催自体が難しいと思うが、ペアレント・トレーニングは受けてみたいと思う。	今年度は保護者会を通し、ペアレント・トレーニングの考え方について勉強会を実施しましたが、今後は実際にペアレント・トレーニングを行う等、継続的な保護者支援が行えるよう努めます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎や来所時には、保護者からの子どもの様子を聞き取り、退室時にはその日の子どもの様子を個々に伝達し、課題についても話をしている。	全員が「はい」の回答。 (ご意見)送迎の際に、どの先生も快く対応してくれている。いつも丁寧に教えて下さり安心している。	引き続き丁寧に対応していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	個別支援計画の更新の面談(随時)、保護者会(3回/年)、個別懇談会(2回/年)、その他必要に応じて面談を行っている。	全員が「はい」の回答。 (ご意見)いつも相談にのって頂けて助かっている。	引き続き丁寧に対応していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の中で勉強会や茶話会の時間を設けて、スキルアップや情報交換できる場を設けている。	「はい」が11名、「どちらともいえない」が1名、「わからない」が2名回答あり。 (ご意見)おおぞらのいえのつどいでは、保護者の方々のいろいろなお話を聞けたり、普段なかなか会えないお母さん方にも会えてお話もできて嬉しかった。送迎利用のため、保護者の方とは保護者会でしか会う機会がない。コロナのため。	引き続き、保護者同士の情報交換ができる場を設けられるよう努めていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決責任者・担当者を配置、苦情受付箱の設置している。	「はい」が10名、「わからない」が4名回答あり。 (ご意見)苦情は今のところ聞いていない。苦情を言う状況になったことがないため。	迅速かつ丁寧に対応をしていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもの特性に応じて、写真カードの使用など意思の疎通や情報伝達に努めている。	「はい」が13名、「わからない」が1名回答あり。	引き続き、子どもの特性に応じた配慮を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	施設全体の広報誌(年1回)、児童発達支援事業のおたより(毎月)の配布、行事予定一覧表と写真付の行事実績(報告)一覧表を年1回配布している。	全員が「はい」の回答。	内容について更に充実していけるよう努めます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	おたより等への写真や氏名の掲載など確認書をいただいている。条件付の掲載についても詳細に対応している。	全員「はい」の回答。	引き続き注意して対応していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定され、職員は周知しているが保護者への周知徹底は不十分である。	「はい」が12名、「どちらともいえない」が1名、「わからない」が1名の回答あり。	必要に応じて丁寧に説明を行います。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	施設全体の避難訓練(毎月)を実施。	「はい」が11名、「どちらともいえない」が1名、「わからない」が2名回答あり。	緊急時の対応については入所時に保護者に説明を行っています。施設全体としては毎月避難訓練を実施していますが、児童発達支援利用児に関しては年一回対象日の利用児が参加しています。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	1回/年虐待防止研修への出席、出席した職員からの伝達研修を行い、振り返りのチェックシートを作成している。		継続していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束はしていない。		必要に応じて実施します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	給食、おやつを提供なし。行事の時のみおやつを提供する場合もある。		食物アレルギーのある子どもの保護者への確認は随時行っています。必要に応じて医師の指示書の提出を検討します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	支援会議での情報共有と、ヒヤリハットのファイルで常に職員全員が供覧できる状態にある。		事例集の作成も検討します。